

文化で日本を  
元気に  
するために

# 準備が進んでいます！ 文化庁の京都移転

来年で50周年を迎える文化庁。文化を通して国民の暮らしを豊かにするさまざまな施策を行っています。この文化庁が、東京から京都に移転することになりましたね。現在、移転準備が着々と進んでいます。

京都市

遅くとも2021年度中  
現京都府警本部本館  
(改修・増築)に移転  
完了予定

2018年秋ごろ  
文化庁の機能  
強化と全面的な  
移転に向けた組  
織改正予定

2017年4月  
文化庁「地域  
文化創生本部」が東山区  
で活動開始

2016年3月  
文化庁の京都  
への全面的な  
移転が決定

2016年1月  
総理大臣などに  
オール京都の文  
化庁移転の要  
請書を提出

2015年3月  
国が地方自治  
体に政府関係  
機関移転の提  
案を求める

1988年  
「文化・学術  
関係機関」の  
京都移転を  
国に要望

1978年  
京都市「世界文化自由  
都市宣言」

「文化庁の移転は京都市の長年の悲願だったんです」とは、京都市総合企画局文化庁移転推進室の工藤正隆さん。昭和の時代から声をあげてきたそう。  
「実現には京都市会や京都府、府議会、経済界、宗教界、文化芸術関係者などとオール京都で働きかけました」

その結果、2016年3月、京都への文化庁の全面的な移転が決定。一東京から場所を移すだけではな、移転に合わせて機能強化・組織改正に向けた取り組みもされています。2017年6月に『文化芸術基本法』ができたこともその一つ。文化芸術の一層の推進を図ろうというもの

## 文化に触れられる講座を開講

文化芸術を盛り上げるための活動も始まっています。文化や芸術に取り組み市民に加え、学生やPTA、メディアや行政などが一丸となり、文化

転・私たちができること  
推進チーム」が講座を開講します。  
今月から4回シリーズで開かれている「私たちが伝える」文化のチカラ講座は、アートや演劇、京料理、紙芝居など地元



区役所などで配布されている講座のパンフレット。文化庁移転や京都市の取り組みについてまとめられています

の方で京都、さらには日本を元気にするために行動する「文化庁京都移転」の身近な文化について考

える機会にと企画されました。子どもも参加できますよ。  
いずれも参加費無料。詳細は専用ウェブサイト  
(<https://sunkun-kyoto.net/recommend/hunka-hara/>)で確認を(左記二次元コードからも見ることが出来ます。アドレスも同じ)。同サイトから申し込みも可能。電話、ファクス、メールでも受け付けています。京都市総合企画局総合政策室市民協働推進担当 ☎075(222)3178、FAX075(222)2902

2017年4月、東山区で活動を開始した文化庁「地域文化創生本部」の星野有希枝さんに話を聞きました。

「私たちは本格的な移転に先立ち、これまでの文化行政の枠組みにとられない先行的な施策を行っています。メンバーは38人。東京の文化庁から来た職員と、京都市や京都府などの自治体、地元の大学や企業、研究者などで構成され、それぞれの立場から情報や意見を交換しています。

今は京都のみなさんに文化庁を知ってもらい、私たちもこの地域のことを知って、今後京都から何ができるかを模索中です。

京都は茶道、華道や京料理など伝統的な文化が非常に身近に感じられるまち。それを支える関連産業も発達していますね。文化庁では、こういったノウハウを学び、全国の文化復興策に役立て、世界への発信力をさらに強化していきたいと考えています。

私たちの動向は文化庁のフェイスブックやツイッターでも発信していますので、ぜひチェックしてください。一緒に、文化の力で京都から日本を元気にしていきましょう」

パワーアップします  
文化庁！



星野有希枝さん  
文化庁 地域文化創生本部事務局 総括・政策研究グループ グループリーダー



機種によっては、読み取り・利用できない場合があります

京都市総合企画局文化庁移転推進室

☎075(222)4200

京都市中京区寺町通御池上ル上本能寺前町488番地

工藤正隆さん  
京都市総合企画局文化庁移転推進室 文化庁移転推進第二係長



京都から次々と生まれていくことが期待されているそう。